

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年03月01日

計画の名称	大月市宅地耐震化推進事業													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和04年度（1年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	大月市													
計画の目標	第一次スクリーニングにより抽出された大規模盛土造成地は大月市に5箇所あり、その盛土造成地の造成年代調査、現地調査、造成カルテの作成等（第二次スクリーニング計画）を実施することで、優先度を適切に評価することにより第二次スクリーニングを計画的に進める。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		4	A	4	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		0地区	0地区	5地区
1	第二次スクリーニング計画の策定 公表箇所数			
	第二次スクリーニング計画を計画・公表し、地域住民の関心を高める。	0地区	0地区	5地区
	第二次スクリーニング計画を作成し公表することで地区住民の防災意識を高める。 公表箇所数／大規模盛土造成地数（0地区/5地区→5地区/5地区）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	大月市	直接	大月市	－	－	宅地耐震化推進事業	変動予測調査（第二次スクリーニング計画策定）	大月市	■					4		－
											小計						4		
											合計						4		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大月市社会資本総合整備計画評価委員会設置要綱に基づき、識見を有する者から構成される大月市社会資本整備計画評価委員により事後評価を実施する。	令和6年2月
	公表の方法
	大月市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングにより抽出された5箇所の大規模盛土造成地について、その盛土造成地の造成年代調査、現地調査、造成カルテの作成及び優先度評価等を実施した第二次スクリーニング計画を策定し、市ホームページに公表した。 また、調査結果より、5箇所の大規模盛土造成地には目立った変状がなく、直ちに変形等の危険性は低いことが判明したため現時点では「経過観察」とした。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

国土交通省が発出した「大規模盛土造成地の経過観察 マニュアル」（令和5年12月）に基づき経過観察を行い、経過観察の結果及び市の財政状況等を踏まえて、第二次スクリーニングの実施時期を見極めていきたい。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	5地区	
	最 終 実績値	5地区	